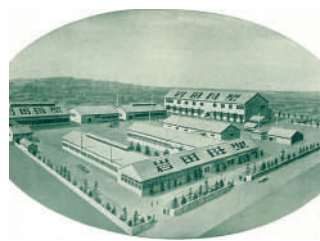


写真で見る
イワタの歴史岩田母型製造所が活字
生産開始

株式会社イワタは、創業者岩田百蔵によって1920（大正9）年設立された、岩田母型製造所が始まりです。活字文化の基礎を支えました。

新聞用扁平活字を開発
（第1世代）

1941（昭和16）年、新聞用扁平書体を開発。より多くの情報を伝える新聞書体の基礎を作りました。「イワタ新聞書体」の源流になりました。

UD新聞書体を開発
（第2世代）

2009（平成21）年、高齢者にも読みやすい「イワタUD新聞書体」を開発。社会の高い評価を受け、多くの新聞社で採用がすすんでいます。

イワタ
NEWS

2015年〔平成27年〕

7月22日〔水〕

大安

株式会社イワタ

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-2-9 滝清ビル7F
TEL：03-5820-3161 FAX：03-5820-3174
URL：http://www.iwatatfont.co.jp

きょうの天気

☐ のち ☐ 一時・時々

北東の風のち南の風、曇り昼前から夕方晴れ
最小湿度55%、海上最大風速8m/s＝横浜

6時	12	18	24	最高 気温	最低 気温	降水 確率	洗濯指数〔横浜〕
横浜				25	18	0	
横浜賀				24	17	0	
鎌倉				24	18	0	
相模原				25	16	0	
厚木				25	16	0	
小田原				24	16	0	
東京				26	17	0	

週間予報 下段太字：最高気温／細字：最低気温

きょう	あす	9(火)	10(水)	11(木)	12(金)	13(土)
横浜						
降水確率	25/18 10%	26/19 30%	24/18 60%	30/22 20%	29/21 20%	27/20 40%
東京						
	26/17	26/19	24/18	30/22	29/21	28/20

各地の天気はテレビ面をご覧ください。

この紙面は、
神奈川新聞社様のご協力により
作成いたしました

“第3世代”の新聞書体めざすミンゴ 女性・若者の読者拡大に向けて



●代表取締役社長 水野 昭

1920（大正9）年の創業以来、新聞向け書体（フォント）の開発を手がけてきた株式会社イワタは今年、「第3世代」の新聞書体といえる新フォント「ミンゴ」を発売した。若者の新聞離れを食い止めるべく、若者・女性にも受け入れられる新感覚の書体を開発。新聞社に広く採用してもらうことで、日本の新聞文化発展に寄与したいと考えている。

「ミンゴはもとも電子媒体向けのフォントとして開発されたんです」と話すのは、今年6月に就任したばかりの水野昭新社長。ミンゴの普及・販売は、社長として初めて手がける大仕事であるだけに、ミンゴへの思いは熱い。

ミンゴが開発されたのは、デザイン部顧問の橋本和夫さんが展示会などに参加するなかで、スマートフォンやタブレットなどの電子媒体に使われているフォントに疑問を感じたのがきっかけだったという。画面の解像度が上がっているのに、それに対応したフォントがない。こうして、電子媒体でも読みやすい斬新なデザインのミンゴが、日本の書体デザイナーの重鎮、橋本さんの手によってデザインされた。

新聞紙面にも手応え

電子媒体向けにはすでに普及が始まっているミンゴ1世代とすれば、私たちが「昔からの新聞明朝を第2世代として、新しいフォントを開発した」といえる。

「昔からの新聞明朝を第2世代として、新しいフォントを開発した」といえる。

新聞販売拡大に向け ともに新たな挑戦を

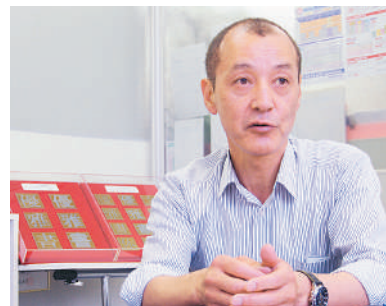
2009年に開発したUD（ユニバーサルデザイン）新聞書体は第2世代。このミンゴは第3世代の新聞書体として受け入れられると確信しています」と水野社長は語る。

ゴシックと明朝のハーフ

その名前からイメージできる通り、明朝とゴシック両方の特徴を兼ね備えているのがミンゴだ。明朝に特有の「若者や女性に身近に感じられるフォントを使うことで、新聞を手にとりやすいチャンスが広がるのでは」と、新聞の販売拡大に向けて、ともに挑戦してくれる新聞社が出てきてくれることを期待しています。

UD新聞書体を開発した時の目的は、高齢社会のものと若年層にも読みやすいフォントを作ることだった。今回のミンゴは、新聞という媒体の特性を踏まえ、読者の新しい若者層をターゲットにしている。

「若者や女性に身近に感じられるフォントを使うことで、新聞を手にとりやすいチャンスが広がるのでは」と、新聞の販売拡大に向けて、ともに挑戦してくれる新聞社が出てきてくれることを期待しています。



ミンゴで新聞の可能性にチャレンジしたい」と話す第1営業部阿部部長



中国では「小豆の電車車両を教室に使い、国語や美術音楽を、体を使って美意識を養う風変わりな教育方針。トットちゃんはその場に居場所を見つけて、精神を解放し、才能を開花させていく」その徹子さんが司会を務めるテレビ番組「徹子の部屋」が放送1万回を超えた。同一司会者による最長記録として、あらためてギネス記録に認定された。「小学校を退学になったような人間が、ギネスをいただけるなんて。校長先生に見せたい」と感極まった。持つて生まれた異能に加え、枠にとらわれぬ教育が枠をはるかに超える記録を生み出した。そう思えたらいい。出る杭を、出る杭なりに育む社会とは、と考える。

【2015・6・7】

水田に彩り 開成・金井島

開成町金井島の「あじさいの里」で6日、恒例のあじさい祭りが始まった。青や紫、白の花5千株が水田の緑色に彩りを添えている。写真。

計17畧の水田地帯には所々にベンチが設置され、のどかな風景をゆっくり堪能できるよになっている。多くの散策客らが足を運び、梅雨入り前に咲き誇る「風物詩」を楽しんでいる。実行委員会は「青色の花は今年見頃。ピンクや白色もこれから花盛りを迎え、最終日の14日まで連続アジサイが楽しめます」と話している。

小田急線開成駅からシャトルバス（有料）10分。問い合わせは実行委員会 ☎0465（84）0317。（浅川 将道）



片桐義子の花言葉

文：片桐義子 絵：沢田真理

2008年5月～2009年4月神奈川新聞連載の人気コラム「片桐義子の花ごよみ」が「花言葉」として本になりました！「花日記」から4年、待望の姉妹編。



■A6判・400頁・並製本・オールカラー
◎定価：1,260円（税別）ISBN978-4-87645-444-0

お求めは、書店もしくは新聞販売店で！

神奈川新聞社

〒231-8445 横浜市中区太田町2-23
企画編集部 TEL.045(227)0850 FAX.045(227)0785
小社発行の書籍は、神奈川新聞のホームページ www.kanaloco.jp/でも紹介しています。

〇お問い合わせは、月～金曜（平日）10時～18時まで。

どんなときも幸せでいたい大切な自分への贈り物
辛くて悲しくて、落ち込んでいてもがんばっている自分へのごほうびに
花と花言葉を贈りましょう。ほら、花たちの声が聞こえてきませんか。

ブルーベリー

「信じてください」
美容と健康のため、
育ててみませんか？

カルミア

「可憐なたずまい」
コンパニオンのような
つぼみが可愛い。

「前向き」

花をめでながら、
暑い夏を乗り切ろう。

コンボルプス

「魔力」

今日はちょっと
めげている、そんなときに。

チョコレートコスモス